

～ コミュニティ・スクール だより No.11 ～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

「三神宮例祭でのポニー奉納」に向け準備（9月21日 氷川中学校3年）



9月21日(日)氷川中学校グラウンドに関係者が集まり、三神宮例祭で怪我や事故もなくポニー奉納ができるよう、禰宜の廣松さんに来ていただき皆でお祓いを受けました。その後、中学生が代わる代わるチームごとにポニーを引き、「ホイホイ」と掛け声をかけながらグラウンドで練習をしました。最初はぎこちなかった生徒も、チームで息を合わせ、ポニーの手綱をしっかりと握り駆け抜けていました。見学に来られた保護者も、「このような貴重な機会があり有難い」と感謝され応援にも力が入っていました。本番に向け、気持ちを一つに祭りを盛り上げていって欲しいです。

「三神宮例祭」に向け講話（9月22日 宮原小学校CS）



9月22日(月)宮原小学校で、CS委員である村山さんが、5・6年生に向け三神宮例祭について話されました。担い手不足などもふまえ、三神宮例祭を子どもたちに継承して欲しいという思いで、三神宮の成り立ちから、祭りの意味、参加する目的等話をされました。宮原小の児童は、各地区で子ども神輿を担ぎ、神幸行列に参加していますが、「歴史などの話を聞いて、三神宮例祭に参加する意味が分かったので頑張りたい」や「歴史ある三神宮のお祭を続けていきたい」など、たくさんの児童が感想を発表していました。祭りが地域の中でずっと根付き、関わった人たちの思いがあって繋がってきた歴史をしっかりと継承していきたいという意気込みが感じられました。

「梨マラソン大会」で子どもたちの活躍が地域を盛り上げました（9月23日）



9月23日(火)「梨マラソン大会」が行われ、町内外からたくさんのランナーが参加されました。沿道では、竜北東小学校の児童が作った応援うちわを持った多くの人々が「頑張れ～!」と声援を送り、汗だくになりながらも、梨をほおばり楽しむランナーの姿がありました。竜北中学校からは有志のボランティアが28名参加し、氷川町のジュニア・リーダーとともに給水や梨のおもてなしなどで活躍し、一緒に大会を盛り上げることができました。中学生が、「お疲れ様です。どうぞ!」と冷たい水等を手渡すと、とびきりの笑顔で「ありがとう!」と受けとられ、子どもたちも、やりがいを感じていました。参加した全ての人に氷川町の良さが伝わる心地よい一日となりました。